

5・6年生に読んでほしい本



①死神うどんカフェ

91/い

作：石川宏千花 出版：講談社

中二の夏、溺れていた子どもを助けようとして、自らも命を落としかけた希子は、それ以来心を閉ざしてきた。そんな希子の前に「死神うどんカフェ」があらわれる。カフェには店長と男子ふたりと自分を助けるために川に飛びこみ、意識不明の重体のまま今も眠りつづける元クラスメイト三田亜吉良がいた。定期的にカフェに足を運ぶようになった希子が知った事実とは？死神の仕事とは？ 日常を違った視点から描かれた物語。



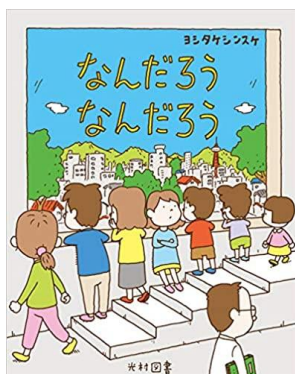
②少年弁護士セオの事件簿 6. 仮面スクन्दル

93/<

作：ジョン・グリシャム 出版：岩崎書店

セオの両親は弁護士。将来法律家を目指しているセオは、友だちからの依頼を一手に引き受け大活躍。セオは学年の一大行事である統一テストを受けた。ある日、親友のエイプリルから州内の中学校で答案のごまかし行為があったことを知らされる。裁判にかけられたのは、信頼の厚い先生たちだった。

事件の謎を解くセオにハラハラドキドキ。裁判の仕組みにも詳しくなる法廷ジュニア・ミステリーシリーズ。



③なんだろうなんだろう

E/な

作：ヨシタケシンスケ 出版：光村図書出版

「いってきまーす」いつものように学校に向かうべく。途中で会った友だちのお母さんから「学校どう？たのしい」？って聞かれた。「そう言われてみると、学校ってなんだろうね。あれ、たのしいってどんな気持ちなんだろう…」そんな一言をきっかけに友だちって？しあわせって？立場って？「なんだろう」を考えた。抽象的な12のテーマをわかりやすく描いた絵本。



④宇宙人のいる教室

91/さ

作：さとうまきこ 出版：金の星社

ピッカピカのランドセルに金ボタンの制服で、ぼくたちのクラスにやってきた転校生、星レオナ。レオナは、運動神経ゼロ、常識もゼロ、いじめられても気がつかないヘンなやつ。あいつのカセットにクラス全員の身上調査がインプットされているのを見たぼくは、あいつは宇宙人で地球を侵略しようとしているにちがいないと確信した。どこかヘンなレオナにとまどいながら目が離せないぼくとの友情物語。



⑤天と地の方程式

91/と

作：富安陽子 出版：講談社

この春、中学2年生になる田代有礼は猿に「くるすの丘に、来い」と言われるへんな夢をみた。その直後に引っ越しが決まり、できたばかりの公立の小中一貫校「栗栖の丘学園」に転入した。同学年の生徒はたったの三人。うちひとり、おそろしく数学ができて人並外れた馬鹿とうわさのQ。距離をとっていたつもりだったが2人で異空間に閉じこめられる。謎解きをしながら脱出できた瞬間は爽快。



⑥ホームランを打ったことのない君に

E/ほ

作：長谷川集平 出版：理論社

塁は野球の試合でこそぞという時に打てない。試合終了後に行ったコンビニで野球部出身の仙吉に出会い「どうして大振りをするのか。」と聞かれ「ホームランを狙った」と話す。

夢は「ホームランを打つこと」あきらめずにがんばるぞと誓い夢にむかって歩き続けることの大切さを、野球が大好きな少年と野球を愛し続ける青年の交流を描いた絵本。



⑦グレッグのダメ日記

93/き

作：ジェフ・キニー 出版：ポプラ社

グレッグが日記を書くことにした理由は、たったひとつ！グレッグが将来、金持ちの有名人になったとき、この日記を出せば1日中、むだな質問にこたえなくてすむように今から準備するため。すごくダメな少年グレッグの日常を手書きメモや図を取り入れ日記とした形式で描かれたアメリカで人気の児童書。



⑧月の輪グマ

91/む

作：椋鳩十 出版：小峰書店

熊の足跡を見つけ、子グマを生け捕ってみようと思しますが、近くで昼寝をしている母グマに恐れてあきらめます。ある日、子グマが一匹だけで見つかります。滝つぼの近くまで追い詰めた時、恐ろしい母グマのほえ声がありました。母グマは30メートルもある大滝の、むこうのてっぺんの岩の上にはいました。とびおりたらいのちはありません。しかし、母グマは滝つぼめがけてとびこんだのです。子グマを守る母グマの愛情に感動します。



⑨5分後に意外な結末

90/ご

出版：学研プラス

1話5分程度の時間で読める短編小説集。ラストにはあっと驚く意外な結末に驚かされ、はっとさせられます。朝読やちょっとした隙間時間にも読める小学生から楽しめる5分後シリーズ。1巻の赤い悪夢には「開いた窓」「学校嫌い」「復讐」など30編が収録されています。



⑩赤毛のアン

93/も

作：モンゴメリ 出版：集英社

孤児院からプリンスエドワード島のちいさな村にやってきた、11歳の女の子は赤毛。赤毛をからかわれてもへっちゃんなアン。明るくて、夢見がちで、おしゃべりなアンが行く手はなぜかいつも大騒動。カナダの作家、モンゴメリが1908年 今から112年前に書いた物語。ミュージカルやアニメ、映画でも上映され世界中で愛されています。



⑪花咲小路1丁目の刑事

91/し

作：小路幸也 出版：ポプラ社

花咲小路商店街で「和食処 あかさか」を営む祖父母のもとに住むことになった若い刑事。引っ越しして以来、非番の日は、祖母から頼み事をされるようになった。死んだはずのおじいさんから手紙が届くようになったラーメン屋さん、猫が家でご飯を食べないと困っているご近所さん等、いろいろな相談があります。

★商店街の人々の力を借りながら解決します。



⑫夏の庭

91/ゆ

作：湯本香樹実 出版：徳間書店

小学6年生の夏、少年たちはある好奇心から老人の観察を始めます。その老人は世間から距離をおき一人で生活していました。最初は不愛想な老人の態度しか見えませんが、いつしか老人のやさしさに気づく少年たち。そしていつの間にか少年たちと老人の間にはお互いを思いやる気持ちが芽生えていました。

★ひと夏の経験が少年たちを大人に近づけ成長していく物語です



⑬精霊の守り人

91/う

作：上橋菜穂子 出版：偕成社

女用心棒バルサは、新ヨゴ皇国の二ノ妃から皇子チャグムを守ってほしいと頼まれます。次々送り出される刺客や魔物からチャグムを守るため、バルサは戦い続けます。

★時折見せるバルサの優しさや、けなげに立ち向かう皇子チャグムの姿に目が離せません。守り人シリーズ読んでみてください。



⑭70年分の夏を君に捧ぐ

91/さ

作：桜井千姫 出版：スターツ出版

現代の東京に住む少女と終戦直前の広島に住む少女が70年の時を超えて毎晩入れ替わる。やがて運命の「あの日」が訪れる。

平和について、生きるということについて、そして家族の大切さを改めて考えるきっかけになる本。

★「70年分の夏を君に捧ぐ」とは、入れ替わる二人を意味するものだと思います読み続けていくと、後半にもう1つの意味するモノを感じ取ることができる。



⑮ぐるぐるの図書室

91/<

作：工藤純子 廣嶋玲子 濱野京子 菅野雪虫 まはら三桃
出版：講談社

不思議な張り紙、ミステリアスな学校司書、謎のミッション…。本の中に迷い込んだ子は奇妙な体験を通して自分なりの答えを見つけ出していく。本が好きな子も、読書に興味がない子も、その子にしか発見できない世界が本にはあると気づかせてくれる。

★5人の作家が書いたリレー形式の短編集なのでお気に入りの作家が見つかるかも?!



⑩ぎりぎりの本屋さん

91/き

作：工藤純子 廣嶋玲子 濱野京子 菅野雪虫 まはら三桃
出版：講談社

ぎりぎりの状態にある子たちが不思議な男の子のいる小さくて古ぼけた本屋さんと出会う。

それぞれ友だち関係の悩みがあったり、何かを探していたりするが不思議な体験を通して気持ちをやわらげたり、落ち着かせたり、大切なことを思い出したりしていく。

★自分専用の椅子が出てくるとというのがワクワクして魅力的。



⑪銀杏堂

91/た

作：橘春香 出版：偕成社

骨董屋の「銀杏堂」には、「四つ葉のクローバー入りエメラルド」や「逃げる水」など、ふしぎな品々が売られています。小学生のレンちゃんは、お店の女主人の高田さんと仲良しになり、毎日のお店に通って、高田さんから、その品を手に入れた時の美しいお話を聞くのです。

★それぞれの品にまつわる物語があるよ。



⑫チョコレート・アンダーグラウンド

93/し

作：アレックス・シアラー 出版：求龍堂

2人の少年は、「チョコレート禁止」というおかしい法律に逆らって、こっそりチョコレートの密売を始めますが…。味方は、カカオを売っているバビおばさんと、チョコレートの作り方を書いた本を扱っている古書店のブレイズさん。そしてチョコレートを食いたいお客さんたち。

★チョコレートのために、立ち上がる精神が素敵です。



⑱タイムチケット

91/ふ

作：藤江じゅん 出版：福音館書店

とある猫に案内されてみつけた紙には『タイムチケット 時間旅行への招待状』という手書きの文字。空欄になっていた〈有効旅行期間欄〉に、〈昭和四四年四月四日〉ぼくがずっと前からほしかった電車のキップの日付を書きこんだ。すると、ドスン！とすごい衝撃があつて…。そこで出会ったのは子どもの頃のおとうさん！おとうさんとぼくのきずなが深まる物語です。



⑳ビブリオバトルへ、ようこそ！

91/は

作：濱野京子 出版：あかね書房

図書委員になった柚希は、あこがれの先輩に注目されたくて委員会のイベントのビブリオバトルに挑戦します。物語以外にも魅力的な本があることを知り本が好きになっていきます。

★あなたも読みたい本が見つかるかも？



㉑ハングリーゴーストとぼくらの夏

91/な

作：長江優子 出版：講談社

引っ越し先のシンガポールで、学校にもなじめず、ひきこもりがちだった朝芽は、シンガポール植物園に、ひとりで遊びに行くようになった。ある日そこで、三人の不思議な人たちと出会う。彼らのさがす「奇跡の木」の植物標本とは？彼らの足、朝芽の足に絡まる白い糸は何？

★シンガポールが、昭和島とよばれていた時代があったことを、みなさんは知っていますか？



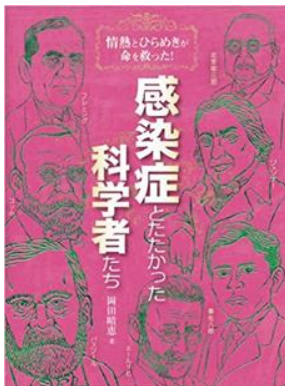
②おとうさんとぼく

72/お

作： e.o.プラウエン 出版：岩波書店

セリフのないコマ漫画、134篇。いたずらっぱいのぼくと、おちゃめなおとうさんのゆかいな毎日。ほのぼのとした二人にいやされます。

★それぞれのまんがについている題名と合わせて楽しんで！

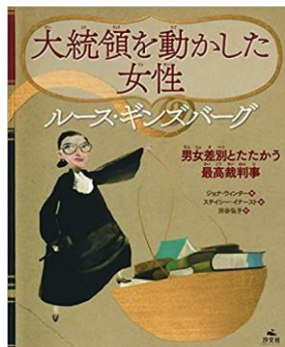


③感染症とたたかった科学者たち

49/か

著：岡田晴恵 出版：岩崎書店

今、まさに新型コロナウイルスの広がり、世界中の人が、苦しんでいます。多くの人びとの命をうばう感染症は、昔から人びとを苦しめてきました。その感染症に立ち向かい、原因をつきとめ、感染の広がりをくいとめた科学者たちがいました。彼らは、身の回りのさまざまなことからひらめきをつかみ、問題解決の道を見つけ出すことに成功したのです。そんな7人の科学者たちの、子ども時代、実験、研究を、絵や写真と、わかりやすい文章で紹介した本です。



④大統領を動かした女性 ルース・ギンズバーグ

～男女差別とたたかう最高裁判事～

E/た

作：ジョナ・ウインター 出版：汐文社

男の子が女の子より大事にされた時代に貧しい家庭に生まれ、女の子であるために教育もままならない中、ユダヤ人である差別、男女差別と次々ふりかかる苦難と闘いながら知性と努力で弁護士に！そして最高裁判事に！！アメリカの正義と平等を象徴する女性ルース・ギンズバーグの伝記絵本。



②小説 はたらく細胞 (既3巻)

91/と

著：時海結以 原作：清水茜 出版：講談社

私たちの体の中で毎日のはたらく細胞、赤血球や白血球は、その数一人当たり約 37 兆個（新説）。すり傷、インフルエンザ、花粉症、熱中症…など私たちの体にふりかかる災難に、日々どうはたらいしているのか?! 小説で楽しみながら知ることができます。